

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者の評価結果について（平成 28 年度中間）

1 地域活動協議会の現在の状況についての分析

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」についての分析
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」についての分析
- (3) 「Ⅲ 組織運営」についての分析
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」についての分析

評価	左記の理由
A	・地活協の意義、地域課題の共有など、地域により理解度・成熟度も大きく異なっている状況を把握・分析できており、それを踏まえた支援策を検討できている。

2 事業の実施内容（支援策（取組）の内容）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の提案内容
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の提案内容
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の提案内容
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の提案内容

評価	左記の理由
A	・「なにわ区ラボ」の実施や、マンション、子育て世代へのアプローチなどにより、新たな活動のきっかけや、意識の変革につながるような支援策を実施できている。 ・広報支援の充実など、組織運営についても柔軟な支援が評価できる。

3 事業の実施体制等

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の提案内容
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる提案内容
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる提案内容
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる提案内容

評価	左記の理由
A	・情報共有会の活用、副担当者のフォローなどにより、これまでの経験・情報の共有化を図ることで、円滑な支援が行われており、地域からも信頼されている。

4 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）（5つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）

評価	左記の理由
A	・地活協の担い手拡充につながるものや、情報共有、意識変革が期待できる支援を実施する一方、地域活動へ関心の薄い層へのアプローチにも取り組み、区の課題に応じた支援は評価できる。

5 現時点での支援策（取組）の実施状況に対する区の評価及び意見

評価項目

(1) 現時点での支援の実施状況

(2) 上記を受けた、年度後半の支援についての考え

評価	左記の理由
A	・前半の支援策については、即座に効果が表れない場合もあると思われるが、重要なメニューであり継続して実施されたい。

6 総合評価

評価	左記の理由
A	・「成熟度に応じた自律支援」と「地活協の裾野を広げる支援」を両輪とさせることは重要である。 ・地域によっては極端な変化を望まないケースや、望んでも組織全体に浸透するには時間が掛かるケースもあることから、ニーズを見極めた地道な支援が必要であり、即座に効果が表れない場合でも軌道修正をしながら継続的な支援策を展開されたい。

(評価基準)

S：本市の求める水準を大幅に上回る効果が得られた

A：本市の求める水準以上の効果が得られた

B：おおむね本市の求める水準どおりの効果が得られた

C：本市の求める水準の効果が得られていない